

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○離島定期航空路線の確保・維持に向けた空港施設の更新・機能向上
主な取組	離島空港の維持補修・機能向上整備		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・ 離島航空路の確保と維持に向けて、計画的な空港施設の更新整備と機能向上に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島空港において航空機の安全な運航を確保するため、更新等の必要な空港施設の整備を行う。	県	離島空港施設維持補修、機能向上に係る設計業務、工事の実施		
		各離島空港の維持補修・機能向上整備数(内訳)		
		7空港	7空港(新規3空港、継続4空港、累計10空港)	9空港(新規1空港、継続8空港、累計11空港)
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課		【 098-866-2400 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		公共離島空港整備事業			予算事業名		公共離島空港整備事業	
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度		R6年度			
		決算額	決算見込額		主な財源	実施方法		当初予算額
内閣府計上	直接実施	902, 695	3, 750, 781		内閣府計上	直接実施	3, 135, 200	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
宮古空港エプロン照明灯改良工事、南大東空港滑走路等改良工事、北大東空港滑走路等改良工事、多良間空港滑走路端安全区域改良工事を行う。					宮古空港誘導路灯改良工事、粟国空港進入灯改良工事、南大東空港滑走路等改良工事、北大東空港滑走路等改良工事を行う。			

活動指標名	各離島空港の維持補修・機能向上整備数（内訳）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		10空港	9空港	8空港（継続8空港、累計10空港）	7空港（新規3空港、継続4空港、累計10空港）	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度においては、目標値の空港数から、令和4年度に伊江島、宮古の整備が前倒しされた影響で8空港となり、目標値は達成し、進捗は順調である。空港の維持補修や機能向上整備に伴い、空港を利用する航空機の安全に繋がる。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○空港施設の適切な管理を実施するため、施設の健全度や状況に応じて維持管理更新計画を更新し、これに基づき施設の更新を行っていく。	・空港施設の適切な管理を実施するため、施設の健全度や状況に応じた維持管理・更新を行った。

様式 1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	・ 当該取組は、航空機の安全航行の確保並びに空港施設の適正な管理運営に繋がることから、計画的な施設の更新を実施するため、点検に基づいた維持管理更新計画の更新が重要である。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	・ 空港施設の適切な管理を実施するため、施設の健全度や状況に応じて維持管理更新計画を更新し、これに基づき施設の更新を継続して行っていく。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	・ 航空機の安全航行の確保並びに空港施設の適正な管理運営を図るため、施設の経過年数等に応じた点検を引き続き実施する必要がある。		

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備の支援
主な取組	離島拠点空港の国際線受入体制整備の支援		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・ 離島空港の機能充実のため、新石垣空港、下地島空港において、各ターミナルビル社による国際線旅客受入体制整備に係る取組を支援します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
CIQ常設に向けた検疫指定を目指すために国へ要望するとともに国際線就航に備えた働きかけを行っていく。	国,県,民間等	検疫指定に向けた関係機関調整、要請		
		CIQ常設に向けた関係機関との調整・要請回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課		【 098-866-2400 】	関連URL —

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	—				予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
—	—				—	—	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
新石垣空港・下地島空港において国際線再開のための備えとして、まずはプライベートジェット機の乗り入れ等に対する検疫業務の協力を依頼した。□					CIQ常設に向けた検疫指定について国へ要望する。国際線就航やプライベートジェット機の乗り入れがあるごとに検疫所へ業務の協力要請を行う。		
活動指標名	CIQ常設に向けた関係機関との調整・要請回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	1回	9回（10回）	1回（2回）	100.0%	順調	国へCIQの「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を計3回行った。また、国際線就航にあたり、那覇検疫所各出張所へ検疫業務の協力要請6回を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
国へCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を3回行い、検疫所へ業務の協力要請を6回行った。検疫所の業務の協力要請を行ったことで新石垣空港において10機、下地島空港において1機、国際線に係る検疫業務が実施された。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
○国際線就航のためには検疫所、ターミナル会社との連携・協力は必要不可欠であり、チャーター機の運航がある度に検疫業務の協力を依頼する。検疫指定に向けて実績を積み重ねていく。				令和5年度は新石垣空港、下地島空港において国際線の就航にあたり、那覇検疫所石垣出張所または、那覇検疫所平良出張所へ業務の協力要請を6回行い、検疫業務が実施されることで国際線の就航ができた。 内訳：新石垣空港5回、下地島空港1回			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	全国的に訪日外国人観光客の数が増え、県内でも那覇空港において国際線の定期便運航の再開が本格化している。また、沖縄県の入域観光客数はコロナ前の水準を上回る月もある。	⑧ その他	不定期便の就航も増えていることから、引き続き、国へのCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」を要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	①離島空港の機能強化及び離島航空路の確保・維持
			施策の小項目名	○離島発着航空路線の維持・拡充
主な取組	伊平屋空港の整備		対応する成果指標	離島空港の年間旅客数
施策の方向	・過去に廃止された石垣拠点の２路線や那覇・粟国路線の継続運航、伊平屋空港の整備・路線開設に関する諸課題の解決に取り組むなど、離島発着航空路線の維持・拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伊平屋・伊是名地域における生活利便性の向上、特色を活かした産業の振興、持続可能な離島地域社会の実現を図るため、空港整備に取り組む。	国,県	新規事業化へ向けた関係者調整		
		関係者調整回数(累計)		
		4回	4回(8回)	4回(12回)
担当部課【連絡先】	土木建築部空港課		【 098-866-2400 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	県単離島空港整備事業費				予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
県単等	直接実施	0	15,400		主な財源	実施方法	当初予算額
					—	—	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
就航予定航空会社の確保に向け、航空会社などと意見交換、伊平屋村・伊是名村と連携して取り組むなど社会情勢を踏まえた費用対効果の算定を実施した。				就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けた取り組みを進める。			
活動指標名	関係者調整回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	4回	4回	4回（8回）	100.0%	順調	就航予定航空会社の確保に向け、航空会社等と意見交換を行い、伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けた取り組みを進める。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
空港整備には関わっていないが、就航予定航空会社の確保に向け、航空会社や村と意見交換を行った。 伊平屋空港を整備することにより、那覇市等の中心都市へおおむね1時間以内の移動が確保でき、伊平屋村や伊是名村における生活利便性向上が見込まれる。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
関係機関等と連携して航空会社との意見交換を継続し、就航予定航空会社の確保に取り組む。				・就航意向取り付けに向けた航空会社との意見交換を継続する。 ・伊平屋村・伊是名村と連携して空港整備に向けた取り組みを進める。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	就航意向取り付けに向けた航空会社との意見交換を継続して進めていく必要がある。	② 連携の強化・改善	意向取り付けや費用対効果の確保など、就航に向けた取り組みを検討し、伊平屋村・伊是名村との連携および航空会社とも意見交換を実施するなど、空港整備に向けた取り組みを進める。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	②離島港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持
			施策の小項目名	○総合的な離島港湾機能の強化・拡充
主な取組	離島港湾整備事業		対応する成果指標	離島港湾における定期航路の数
施策の方向	・港湾等については、海上交通の安全性・安定性の確保、輸送需要の増大と輸送形態の効率化、産業・観光振興、防災・減災対策、ユニバーサルデザイン、AI、IoTを活用したスマートポート化への対応など、ハード・ソフトの両面から総合的な港湾機能の強化・拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島港湾において、港内の静穏度向上などにより、離島間の連絡船や小型船の港内における安全な航行、係留および保管能力の向上が図られるよう、港湾施設の整備を実施する。	県	港湾施設の整備(水域、外郭、係留、臨港交通施設等の整備)		
		港湾施設の整備が完了した港湾数(事業単位)(累計)		
		1港	1港(2港)	1港(3港)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	港湾改修費、社会資本整備総合交付金（港湾）、沖縄振興公共投資交付金（港湾）				予算事業名	港湾改修費、社会資本整備総合交付金（港湾）、沖縄振興公共投資交付金（港湾）	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
内閣府計上	直接実施	1,947,805	1,718,408		内閣府計上	直接実施	2,341,712
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
県管理6港湾において岸壁等の整備を実施した。					県管理11港湾において岸壁等の整備を実施する。		

活動指標名	港湾施設の整備が完了した港湾数 （事業単位）（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0港	3港	1港（4港）	1港（2港）	100.0%	順調	県管理9港において、岸壁等港湾施設の整備を実施した。令和5年度は、北大東港（西地区）の台船岸壁の整備が完了した。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標 1 港に対し、北大東港で実施していた事業が完了したことから順調とした。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○各港湾の整備進捗や現場状況を踏まえながら、事業効果の早期発現が期待できる事業を優先的に取り組む。また、早期の事業進捗が図れるよう、予算確保に努める。 ○工事の実施に際して、港湾利用者等と調整し、利便性や安全性に配慮した施工計画、工程管理により事業を推進する。 ○特に環境に配慮すべき港湾においては、環境調査等を実施しながら、整備する。	○事業の実施に際して、港湾利用者等と調整し、利便性や安全性に配慮した施工計画、工程管理により事業を実施している。 ○特に環境に配慮すべき港湾においては、環境調査等を実施しながら、整備している。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	一部の予算減額により、事業の進捗に影響が生じている。	① 執行体制の改善	各港湾の整備進捗や現場状況を踏まえながら、事業効果の早期発現が期待できる事業を優先的に取り組む。また、早期の事業進捗が図れるよう、予算確保に努める。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	工事期間中は、定期船などの港湾利用者の利便性や安全性に配慮しながら施工する必要がある。	② 連携の強化・改善	工事の実施に際して、港湾利用者等と調整し、利便性や安全性に配慮した施工計画、工程管理により事業を推進する。
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	埋め立て工事等については、環境に配慮し整備を推進する必要がある。	③ 他地域等事例を参考とした改善	特に環境に配慮すべき港湾においては、環境調査等を実施しながら、整備する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	②離島港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持
			施策の小項目名	○総合的な離島港湾機能の強化・拡充
主な取組	離島港湾の利便性向上推進事業		対応する成果指標	離島港湾における定期航路の数
施策の方向	・港湾等については、海上交通の安全性・安定性の確保、輸送需要の増大と輸送形態の効率化、産業・観光振興、防災・減災対策、ユニバーサルデザイン、AI、IoTを活用したスマートポート化への対応など、ハード・ソフトの両面から総合的な港湾機能の強化・拡充に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島にとって港湾は島民の生活物資等を取り扱うことから、生活に密着した社会資本の一つである。本事業においては天候に左右されず生活物資の受け渡しが可能な屋根付き荷捌き施設を整備する。	県	港湾利用者の利便性や、快適な移動動線を確保するための離島航路港湾の施設整備		
		利便性向上を推進した港湾数(累計)		
		1港	1港(2港)	2港(4港)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課	【 098-866-2395 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		離島港湾の利便性向上推進事業			予算事業名		離島港湾の利便性向上推進事業	
主な財源		実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
一括交付金 (ソフト)		直接実施	65, 871	62, 091	主な財源		実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)		直接実施	55, 890					
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
屋根付き荷捌き施設 1 港の整備を行った。					屋根付き荷捌き施設 1 港の整備を行う。			

活動指標名	利便性向上を推進した港湾数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	4港	1港	1港	1 港（2 港）	100. 0%	順調	R5年度は、小浜港において屋根付き荷捌き施設の建築工事 1 港を完了した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値どおり、令和5年度に1港において屋根付き荷捌き施設の整備を完了した。
本事業により天候に左右されず生活物資の受け渡しが可能となり、港湾の利便性向上が図れた。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度 of 取組改善案	反映状況
○設計段階から地元市町村や港湾利用者と意見交換の場を設け合意形成を図り、円滑に利便性の高い施設を整備する。	○設計段階から地元市町村および港湾利用者の意見交換をすることにより、計画施設の利便性を高めた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	屋根付き荷さばき施設の設計後に地元市町村や港湾利用者から仕様変更の要望があったため、調整に時間を要した。	② 連携の強化・改善	設計段階から地元市町村や港湾利用者と意見交換の場を設け合意形成を図り、円滑に利便性の高い施設を整備する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	③地域特性に応じた島内移動手段の確保
			施策の小項目名	○離島の地域特性に応じた移動環境の創出
主な取組	離島の道路・街路整備事業（県管理道路）		対応する成果指標	離島における乗合バス利用者数
施策の方向	・ 空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結させるため、離島の地域特性に応じた道路整備を推進するとともに、MaaSや自動運転技術等の新技術の活用を含め、島内移動手段のシームレスな連携接続に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
空港、港湾・漁港等の交通拠点間を相互に連結させるため、離島の地域特性に応じた道路整備を推進する。	県	平良下地島空港線、マクラム通り線、石垣空港線等の整備		
		整備済延長(累計)		
		整備実施	0.4km	1.5km(1.9km)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		沖縄振興公共投資交付金事業費（道路）			予算事業名		沖縄振興公共投資交付金事業費（道路）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	R6年度				
一括交付金 （ハード）	直接実施	1,154,658		643,789	主な財源	実施方法	当初予算額		
					一括交付金 （ハード）	直接実施	1,395,327		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
平良下地島空港線（道路改良、用地補償）、石垣空港線（道路改良、用地補償）等の整備を行った。					石垣空港線（道路改良、用地補償）、久米島一周線（道路改良）等の整備を行う。				
予算事業名		沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）			予算事業名		沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	R6年度				
一括交付金 （ハード）	直接実施	161,183		34,013	主な財源	実施方法	当初予算額		
					一括交付金 （ハード）	直接実施	266,544		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
マクラム通り線（街路工事、用地補償等）等の整備を行った。					マクラム通り線（街路工事、用地補償等）、市場通り線（街路工事）等の整備を行う。				

活動指標名	整備済延長（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		石垣空港線、マクラム通り線等の整備を行った。
	整備実施	整備実施	0.4km	0.4km	100.0%		

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
供用を予定していた平良下地島空港線（0.4km）で供用を開始したことから、「順調」とした。 引き続き離島の地域特性に応じた道路整備を推進することで、島内移動手段の強化を図る。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○難航した場合の代替箇所での工事が可能となるよう、用地担当と事業担当で密に調整を行い、計画的な用地交渉を実施する。 ○収用手続き期間を考慮した供用開始までのスケジュールを作成し、早期の用地取得に向けた工程管理を行う。	○四半期毎に用地担当、事業担当合同の執行会議を開催し、早期供用開始に繋がる用地取得に努めた。 ○用地取得等の課題を整理した工程表を作成し、工程管理を行った。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	石垣空港線において、今後、大規模橋梁工事への集中投資と連続発注が必要であり、詳細な事業計画の立案と担当者間での情報共有を図る。	⑧ その他	全体計画の中で大規模橋梁工事の実施時期を明確にし、予算措置の年度計画と工事の詳細工程を執行会議において事務所担当者と本庁担当者で共有する。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(8)-エ	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	施 策	③地域特性に応じた島内移動手段の確保
			施策の小項目名	○離島における道路橋梁の計画的な維持管理、補修・補強及び更新
主な取組	橋梁長寿命化修繕事業（県道等）		対応する成果指標	離島における乗合バス利用者数
施策の方向	・ 離島の道路橋梁については、地域特性に応じた整備と計画的な維持管理、補修・補強及び更新に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
離島における県管理道路橋171橋は、その大部分が復帰後に建設されたものである。今後老朽化・劣化の進行する橋梁に対し、「沖縄県橋梁長寿命化修繕計画」に基づき長寿命化を図るとともに災害等緊急時の輸送道路の確保等、安全で安心な道路ネットワークの形成を図る。	県	離島橋梁の定期点検・修繕・耐震補強・更新の実施		
		定期点検・修繕・耐震補強・更新箇所数(内訳)		
		4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL —

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		道路防災保全事業			予算事業名		道路防災保全事業		
主な財源		実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額					
一括交付金 (ハード)		直接実施	740, 789	576, 309					
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（3箇所）を実施した。					県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（1箇所）を実施する。				
予算事業名		道路メンテナンス事業			予算事業名		道路メンテナンス事業		
主な財源		実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額					
内閣府計上		直接実施	102, 279	747, 432					
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（1箇所）を実施した。					県管理道路（補助国道、県道）における道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新（3箇所）を実施する。				

活動指標名		定期点検・修繕・耐震補強・更新 箇所数（内訳）		R5年度			進捗状況	活動概要
		R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値		4箇所	4箇所	4箇所	4 箇所（継続 4 箇所）	100. 0%	順調	県管理道路橋の定期点検・修繕・耐震補強・更新を 4 箇所実施した。

様式 1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
定期点検・修繕・耐震補強・更新箇所数については、計画4箇所に対し、実施4箇所であり、「順調」であった。 県管理道路橋の長寿命化を図るとともに、安全で安心な道路ネットワークの形成に向けて取り組んだ。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○引き続き、平成26年度から実施している法律に基づく定期点検を実施し、すべての県管理道路橋の点検結果を記録・把握する。 ○新技術の活用や施設の集約化に関する方針について検討する。	○県管理道路橋の定期点検を実施した。 ○防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策に伴う国の補正予算を活用し、事業のさらなる推進を図った

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	・離島における県管理の道路橋は171橋あり、その多くが復帰後に建設されている。今後、修繕費の増大が予測されることから、最も効率的・効果的な維持修繕を行わなければならない。	⑥ 変化に対応した取組の改善	・引き続き、平成26年度から実施している法律に基づく定期点検を実施し、すべての県管理道路橋の点検結果を記録・把握する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	・道路法令の改正により、道路橋の定期点検(5年に1回)の実施が定められた。 ・防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策に伴い、予防保全型による老朽化対策が見込まれる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	・新技術の活用や施設の集約化に関する方針について検討する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	・定期点検(1回/5年)を実施することで、健全度の経年変化を記録・把握する必要がある。 ・効率的・効果的な事業の実施のため、コスト縮減に関する具体的な方針について検討する。		